

議会だより しずし /

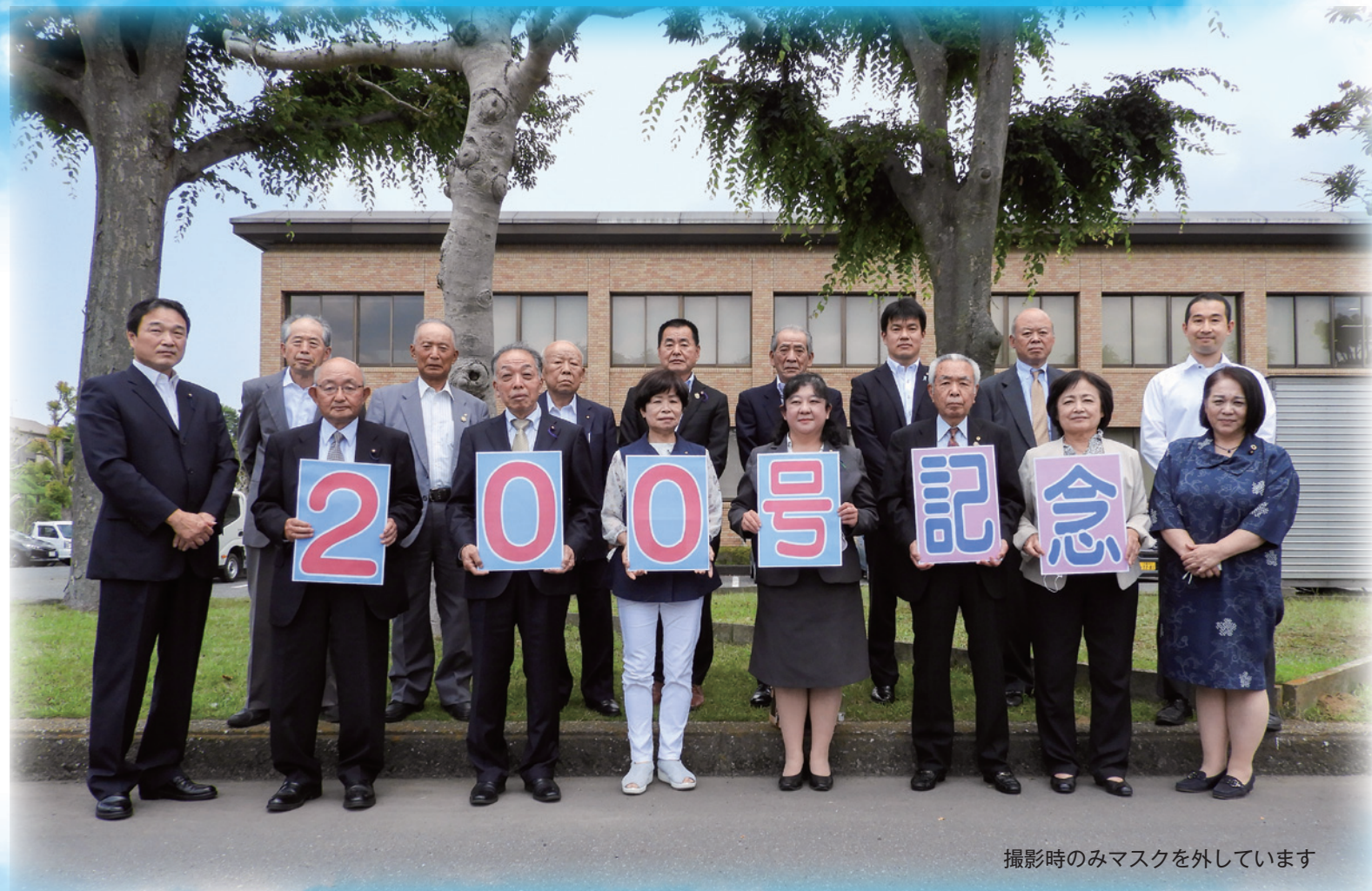
編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.200

令和3(2021)年8月1日発行



撮影時のみマスクを外しています



議会HPは
こちらから
Check!

6月
定例会

4月
臨時会

新たな議会の構成が決定・・・・・・・・・・・・・・・・P2～P3

条例改正や補正予算などの議案審議等・・・・・・・・P4～P8

一般質問 議員13名が町政を問う・・・・・・・・・・・・・・・・P9～P16

感染症対策経費の増額・・・・・・・・・・・・・・・・P17

4月臨時会

第38代議長に川島邦彦議員

第40代副議長に竹尾忠雄議員



4月20日に行われた令和3年第3回臨時会において、第38代議長に川島邦彦議員、第40代副議長に竹尾忠雄議員が選出され、各常任委員会、議会運営委員会など、令和4年4月までの2年間の新体制が決定しました。(議案については17ページ)



議長 川島 邦彦
かわしまくにひこ

町民の信頼を支えに

議員間の自由な討論の場を積極的に見出し、多様な意見を踏まえた議会運営を目指します。そして、町民福祉の増進や自律性の高い自治体を実現するため、議会機能の強化に努めてまいります。ご支援をお願いいたします。

皆さんから信頼される議会へと努力します

町民の皆さんから信頼される議会に向けて議長と力を合わせて前に進めてまいります。先の3月議会で議会基本条例が制定されました。議会の民主的運営に努力してまいります。また、議会としての行政監視機能を引き続き果たしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



副議長 竹尾 忠雄
たけおただひこ

議会選出の一部事務組合等議会議員	
組合等名	議員名
印旛衛生施設管理組合	白井 則 邦
佐倉市八街市酒々井町消防組合	齊藤 博 ・ 御園生 浩 士
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	地福 美枝子 ・ 佐藤 修 二
佐倉市、酒々井町清掃組合	江澤 真 一 ・ 内海 和 雄
印旛郡市広域市町村圏事務組合	川島 邦 彦
千葉県後期高齢者医療広域連合	齊藤 博

各委員会の新体制も決定

総務常任委員会

議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、選挙管理委員会、監査委員に関する事務、他の常任委員会に属さない事務を調査・審査します。



委員長
御園生 浩士



副委員長
内海 和雄



委員
川島 邦彦



委員
竹尾 忠雄



委員
小早稲 美穂

教育民生常任委員会

住民協働課、健康福祉課、教育委員会に関する事務を調査・審査します。



委員長
地福 美枝子



副委員長
白井 則邦



委員
佐藤 修二



委員
齊藤 博



委員
金塚 学



委員
酒瀬川 芳子

経済建設常任委員会

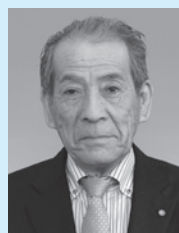
経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会に関する事務を調査・審査します。



委員長
須藤 伸次



副委員長
大石 法子



委員
高崎 長雄



委員
越川 廣司



委員
江澤 眞一

議会運営委員会

議会運営や会議規則に関すること、議事進行、日程など議長諮問に関する事項などを協議します。

委員長 内海 和雄
副委員長 齊藤 博

委員 地福 美枝子 委員 御園生 浩士
委員 須藤 伸次 委員 大石 法子

議会だより編集特別委員会

年4回発行する議会広報の編集をします。

委員長 酒瀬川 芳子
副委員長 白井 則邦

委員 江澤 眞一 委員 御園生 浩士
委員 大石 法子 委員 小早稲 美穂



新型コロナウイルス関連議案を可決

議会でも『感染症対策』を後押し

6月定例会概要

6月定例会は、6月2日から6月11日までの10日間の会期で開催され、町長から提案された議案4件と報告4件、議員から提案された発議案3件及び請願2件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案・請願・発議案第1号及び第2号については、原案のとおり可決・採択されました。

また、町長から「新型コロナウイルス感染症に係る町の対応について」教育長から「青少年交流の家に係る提訴の経過報告について」の行政報告が行われました。

一般質問は13名の議員が2日間にわたり行い、新型コロナウイルス対策や地域振興など町政全般について質問しました。

6月15日より開始された新型コロナワクチン集団接種（プリミエール酒々井）



議案

■議案第1号■ 国民健康保険税条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免措置を令和3年度においても継続するため減免期限の延長を行うとするもの。
※全員賛成で可決

■議案第2号■ 介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる被保険者等における介護保険料の減免措置を令和3年度に

においても、継続して減免期限の延長を行うもの。
※全員賛成で可決

■議案第3号■ 一般会計を増額補正

今回の補正は、感染症対応に伴う避難所用備品購入費、各保育園の自動水栓化工事費、プリミエール酒々井の電子図書館導入経費はじめ、新型コロナウイルスワクチン接種協力補助金の他、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業経費、令和元年度台風災害に伴う被災農業者向け経営体育成支援事業補助金など、緊急を要する経費等を計上。

歳入では、新型コロナウイルス感染症対応経費及びワクチン接種体制確保経費、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業、被災農業者向け経営体育成支援事業等の歳出の増額に伴う国・県支出金の増額補正並びに上水道出資債の財源補正等を行うもの。
※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	65億9,802万2千円
補正額	6,506万7千円
合計	66億6,308万9千円

討 論

賛成
ひとり親以外の低所得世帯支援・避難所防災備品拡充等に

小早稲 美穂 議員

子育て世帯生活支援特別給付金支給事業は、さまざまな条件があるが、こども課に相談し活用していただきたい。

今回の予算では、町内7か所の避難所で在宅避難・分散避難のできない方が使用する簡易ベッドやパーテーション、エアータントなど防災用備品購入費が計上された。昨年より、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、避難の仕方・災害時の避難所運営が変更となり、以前のようによくの方が避難所に入れる

わけではない。今後は、町民に避難行動を周知し、いざというときに備えていただきたい。町民、一人ひとりが幸せな生活を送られるよう賛成する。

■議案第4号■
下水道事業会計増額補正

討 論

賛成
整備事業がまだ行われていない地域の計画見直しに

酒瀬川 芳子 議員

<下水道事業会計補正予算額>

資本的収入	補正前	9,832千円	資本的支出	補正前	1億1,063万8千円
	補正額	1億2,050万円		補正額	1億6,613万9千円
	合計	1億3,033万2千円		合計	2億7,677万7千円

集落の下水道整備事業及び下水道計画見直し事業を行うもの。資本的収入は、その費用を企業債・国庫補助金から繰入れるため増額補正するもの。
※全員賛成で可決

町の下水道普及率は県内においても高いが、下水道整備事業がいまだ行われていない地域、今回は飯積地区、本佐倉地区、尾上地区、上岩橋地区、馬橋地区の既存集落での下水道整備事業及び下水道計画見直し事業は、生活環境や公衆衛生の向上、最終的には川や海の浄化にもつながる。いつまでも美味しい地下水が自慢の酒々井町となるよう、後世の人達のため、下水道整備普及率目標達成のためにも賛成する。

今回の補正、資本的支出では、飯積地区・本佐倉地区・尾上地区・上岩橋地区・馬橋地区既存

報 告

■報告第1号■
一般会計予算の繰越

事業の進捗状況又は国の補正予算の活用等の理由により、「新型コロナウイルスワクチン接種事業」、「学校給食センターボイラー更新工事」はじめ、「水防用地造成整備事業」や「道路の改良事業」など繰越明許費を設定した16事業の、翌年度への繰越額について報告するもの。

■報告第2号■
一般会計予算の事故繰越

令和2年度中に事業執行が困難となった「町道2B1031号線未登記処理事業」の翌年度への事故繰越しについて報告するもの。

■報告第3号■
水道事業会計予算の繰越

「宗吾酒々井線道路改良に伴う配水管布設工事」について、規定により予算繰越の処理を行い報告するもの。

■報告第4号■
下水道事業会計予算の繰越

「公共下水道飯積217031314工区工事」、「不明水対策事業」、「長寿命化対策事業」について、規定により予算繰越の処理を行い報告するもの。

請 願

■請願第1号■
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

学校の基幹職員である学校事務職員・学校栄養職員を含め、教職員の給与を義務教育費国庫負担制度から適用除外すること



は、「義務教育費国庫負担法」第一条に明記されている「教育の機会均等とその水準の維持向上」という目的に反するばかりでなく、財政負担を地方自治体に課し、厳しい地方財政をさらに圧迫するものであり、義務教育の円滑な推進を阻害するおそれも出てくることから、同制度の堅持を国に要望するもの。
※賛成多数で採択

■請願第2号■

「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

次の項目を中心に、2022年度にむけての予算拡充を国に求めるもの。

- 1 災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
- 2 少人数学級を実現するため公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
- 3 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること

- 4 現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業にかかわる予算をさらに拡充すること
- 5 子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
- 6 老朽化等による危険をともしなう校舎・ブロック塀の改築や、更衣室、洋式トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
- 7 子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、財政措置を講じること
- 8 感染症に伴う臨時休校等により、児童・生徒が健康面・学習面で不安やストレスを感じることがないように財政措置を講じること

※賛成多数で採択

討論

予算削減されておらず国より交付金が出ているため
反対

小早稻 美穂 議員

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書については、義務教育費国庫負担法第2条に

発議案

■発議案第1号・2号■

意見書を国に提出するもの

請願第2号、第3号について、賛成多数により採択されたことに伴い、それぞれ意見書を内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に提出するもの。
※それぞれ賛成多数で可決

■発議案第3号■

町長の一般質問の発言取消しを求める決議

令和3年6月定例会での齊藤博議員の一般質問答弁において、町長は「成田からの手紙」を朗読した部分について、根拠のない話であり、著しく個人の名誉を傷つけた。その後も弁明もなく、議会として発言の取消を求め、決議するもの。
※賛成少数で否決

討論

議事録に残すべきではないため
賛成

地福 美枝子 議員

町長が質問されたことに答えず全く関係のない話をされたことと自体が問題である。議会は口論の場ではない。聞かれたことに対して答えるのが一般質問である。議会における一般質問の場を汚したと感じ議事録に残すべきではないと思ひ賛成する。

全議員が集まる全員協議会で話し合っべきと思ひ
反対

金塚 学 議員

一般質問の発言取消を求める決議をこの場で出すことに反対する。議会運営委員会を通ったから発言したという説明があったが、本来であれば、質問をした側にも問題があったのではないかなど全員協議会で話し合っからの発言となつたかもしれない。そういったことが一切なく決議として出されることは、残念ながら我々議会人としての品格を下げるものにつながっているのではないか。全議員が集まる全員協議会の場で話し合っから発議案として出すべきものであると思ひ反対する。

まずは全員協議会で話し合っべきであるため
反対

高崎 長雄 議員

この問題について議長に相談したと思うが、議長が議会運営委員会に諮問したこと自体に疑問を抱く。このような問題はまず全員協議会で話し合っから出すべきである。

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長 ○…副委員長

総務常任委員会

※議事事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、委員 ◎御園生／○内海
 会計室、選挙管理委員会、監査委員、その他の 川島／竹尾
 事務についての審査を担当 小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	国民健康保険税条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第3号	令和3年度一般会計補正予算（第2号）※委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会

※住民協働課、健康福祉課、委員 ◎地福／○白井
 教育委員会についての審 佐藤／齊藤
 査を担当 金塚／酒瀬川

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	介護保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第3号	令和3年度一般会計補正予算（第2号）※委員会担当分野	5	0	原案可決
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	4	1	採 択
請願第3号	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	4	1	採 択

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、委員 ◎須藤／○大石
 上下水道課、農業委員会に 高崎／越川
 ついての審査を担当 江澤

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	令和3年度一般会計補正予算（第2号）※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第4号	令和3年度下水道事業会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・・○ 反対・・・× 議長は採決に加わりません。

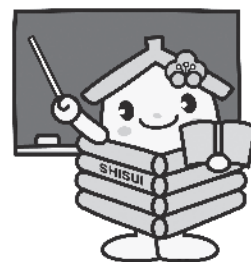
番号	件名 (件名は一部省略)	本会議の採決結果																
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島議長	齊藤	内海	佐藤	江澤	竹尾	地福	越川	高崎
<条例の一部改正>																		
1	国民健康保険税条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
2	介護保険条例の一部改正	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和3年度補正予算>																		
3	一般会計補正予算（第2号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
4	下水道事業会計補正予算（第1号）	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
<請願>																		
2	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択 (賛8・否7)	×	○	×	×	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×
3	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択 (賛8・否7)	×	○	×	×	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×
<発議案>議員提出による議案																		
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出 (提出者 地福美枝子議員 他3名)	可決 (賛8・否7)	×	○	×	×	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×
2	国における2022年度教育予算拡充に関する意見書の提出 (提出者 地福美枝子議員 他3名)	可決 (賛8・否7)	×	○	×	×	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×
3	町長の一般質問の発言取消を求める決議 (提出者 御園生浩士議員 他2名)	否決 (賛6・否9)	×	○	×	×	×	×	○	—	○	○	×	×	○	○	×	×

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。6月定例会の一般質問は、6月10日と11日の2日間で13名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 大石 法子 議員・・・P 10

- ◆ 脱炭素社会構築へ向けての町の取り組み
- ◆ GIGAスクール構想における現場の取り組み
- ◆ PCR検査の対象拡大の考えはあるのか

No.2 酒瀬川 芳子 議員・・・P 10

- ◆ 町の汚水処理施設整備計画（アクションプラン）

No.3 須藤 伸次 議員・・・P 11

- ◆ コロナウイルスワクチン接種の町の計画
- ◆ 町道02-009号線の工事進捗状況
- ◆ 県道宗吾酒々井線歩道拡幅工事

No.4 金塚 学 議員・・・P 11

- ◆ 地域経済の発展支援と農業振興地域の景観保全
- ◆ 町の活性化及び歴史と文化を大切にする取り組み
- ◆ 安全安心なまちづくりの推進

No.5 内海 和雄 議員・・・P 12

- ◆ 町長の政治姿勢について

No.6 佐藤 修二 議員・・・P 12

- ◆ 安全・安心のまちづくり関連について
- ◆ 空き家対策

No.7 齊藤 博 議員・・・P 13

- ◆ 町長の資産報告
- ◆ コロナ禍に係る交付金等の継続
- ◆ 次期基本構想及び基本計画の策定
- ◆ 「青少年交流の家」に係る調停裁判

No.8 江澤 眞一 議員・・・P 13

- ◆ 介護保険事業等について

No.9 小早稲 美穂 議員・・・P 14

- ◆ ICT教育について

No.10 御園生 浩士 議員・・・P 14

- ◆ 消防団員報酬について
- ◆ GIGAスクール構想について
- ◆ 町内の道路の維持管理
- ◆ 町内の遺跡・文化財について

No.11 白井 則邦 議員・・・P 15

- ◆ 町の施設について
- ◆ 町中小企業等緊急支援給付金
- ◆ 妊産婦の支援
- ◆ ワクチン接種

No.12 地福 美枝子 議員・・・P 15

- ◆ 生理用品無償配布
- ◆ 就学援助
- ◆ 木造住宅耐震改修工事補助金制度
- ◆ コロナ感染症対策のワクチン接種
- ◆ 農協跡地について

No.13 竹尾 忠雄 議員・・・P 16

- ◆ 一方通行道路の局部改良事業（上岩橋パーミヤン前）について
- ◆ 町内の中小事業者、個人事業主へ町独自の支給
- ◆ 生産者米価の暴落
- ◆ 旧酒々井機場（国管理）について

問

地球温暖化に向け、町、事業所、町民が協力していく内容は

答

今後、一体となって計画を立てていきたい



大石 法子議員

問 脱炭素社会に向けた取り組みで、「町民や事業所、自治体が協力して推進していく」と計画にあるが、具体的な取り組みを伺う。

経済環境課長 町では、平成28年度に酒々井町温暖化防止実行計画を策定し、太陽光発電システムの導入をはじめとした温室効果ガスの抑制に取り組んできた。今年度、国の地域再エネ導入戦略策定支援事業に申請しており、採択されれば二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を受けられるので、今後、町内事業者、住民を含めて計画を立てていきたいと考えている。

GIGAスクール構想の取組は

問 小学生・中学生に一人一台端末も整備され、今年度から本格的に活用されていくと思うが、具体的な取り組みを伺う。



学校教育課長 一人一台パソコンとして、クロームブックを配布している。録画配信用ソフトとして「Google Meet」、協働学習用ソフト及びドリル学習ソフトとして「ミライシード」を活用する。準備は整っており、「ミライシード」のドリル学習機能については既に活用を開始している。



配るコンテンツ等を個別に学習状況に応じた学習が可能になります

PCR検査対象者の拡大を

問 高齢者へのPCR検査費用を助成しているが、ワクチン接種も始まったことから、検査対象者を拡大してはと思うが、町の考えを伺う。

健康福祉課長 ワクチン接種や感染者の状況を考慮しながら、検査対象者（65歳以上）の引き下げを検討していきたい。

問

アクションプランで公共下水道を設置した数は

答

公共枓を30箇所設置した



酒瀬川 芳子議員

問 酒々井町のアクションプランでは、平成27年から令和6年までに、公共下水道及び合併浄化槽の整備を策定したが、整備する地域をどのような基準で決めているのか。

上下水道課長 既存の下水道事業計画区域以外の区域で主に経済的な比較から下水道により集合処理区域と合併処理浄化槽による個別処理区域を選別し、さらにその中から先行して下水道を整備する町の公共下水道認可取得予定区域及び民間の開発計画がある区域を選定している。

問 アクションプランで公共下水道を接続した家の数は。

上下水道課長 平成27年度からの工事で公共枓を30箇所設置している。

問 今回、合併浄化槽を取り付けた数は。

上下水道課長 町が補助した箇所は13箇所である。

問 合併浄化槽を設置する際の費用の補助はあるのか。

経済環境課長 3段階に分かれており、高度処理の場合67万4千円から92万3千円、やや高度処理の場合44万4千円から57万6千円、通常の合併浄化槽の場合38万4千円から58万5千円の補助金がある。

問 公共下水道工事に係る酒々井町の受益者負担金はいくらで、どのように計算されるのか。

上下水道課長 町内を4つのエリアで設定しており、1平方メートルあたりそれぞれ289円、300円、305円、351円となっている。

問 酒々井町の令和6年度までの計画期間におけるアクションプランには馬橋地区の開運団地が入っていないが、この地区では平成28年9月と令和元年の大雨による水害が発生している。今夏、議案第4号の補正予算の中に開運団地の下水道工事計画が入っているが、詳しい説明を。

上下水道課長 開運団地はアクションプランを設定する段階で既に認可区域に入っていたので、アクションプランには入っていない。団地内の一部は既に整備済みなので残りの路線を整備していく。

問

ワクチン接種はいつまでに終了するのか

答

11月中旬までには2回目の接種を終了する予定



須藤 伸次 議員

問① 個別・集団接種を「いつまで」「どこで」「どのように」実施するのか。
問② 集団接種時のスタッフの対応方法について伺う。

問③ 2回目の接種は、最終的にいつまでに終了するのか。

健康福祉課長①②③ 65歳以上の方は7月中旬、64歳以下の方は11月中旬までに2回目の接種を終了する予定であり、個別接種は町内5医療機関、集団接種はプリミエール酒々井で行う。また、集団接種時の従事者は20名程度を予定している。

町道02-0009号線について

問 町道02-0009号線の無電柱化工事はいつ完成するのか。

まちづくり課長 令和3年度末を予定している。

問 以前、入札不調となった朝日橋の拡幅計画はいつ着手するのか。

まちづくり課長 無電柱化工事や他の工事の進捗状況を踏まえて検討する。

問 役場入口交差点から下台の国道296号線までの渋滞解消について町の考えを伺う。

まちづくり課長 交通の集中する時間帯に渋滞が発生すると認識している。渋滞の緩和に向けて、信号表示の時間調整等を佐倉警察署に要望していく。



週末や祝日は特に渋滞する下台の町道（東光寺付近）

問 通学で利用する生徒の安全確保を町はどのように考えているのか。

まちづくり課長 通学時間帯のパトロールと大型車の取り締まりを佐倉警察署に要望していく。

県道宗吾酒々井線拡幅工事について

問 旧助邸までの未整備区間の歩道拡幅はいつ着手するのか。

まちづくり課長 印旛土木事務所に確認したところ、現在、用地取得を実施しているところであり、用地取得がまとまった段階で工事を進めると回答があった。

問

町の持つ歴史景観と併せた持続可能な農業政策の実現を

答

農地の大区画化等の推進を図っていききたい



金塚 学 議員

問 持続可能なまちづくりを考える中で地域経済の活性化には、地元企業の発展の他、地元農産物・特産品の流通活性化が重要である。一方、歴史的景観の保全やそれらを取り巻く農業振興地域の景観保全は町の魅力であり、町の重要な財産である。農業振興地域の整備計画の策定や、町の持つ歴史景観と併せた持続可能な農業政策の進捗状況を伺う。

経済環境課長 小区画等が担い手不足による耕作放棄地の増加につながっていると考えられるため、大区画化等の推進を図り、持続可能な農業経営に対する支援が必要と考えている。また、農地の所有者からアンケートを頂いているので、農業振興地域の整備計画の中に反映させていきたい。

歴史文化を大切に取る取り組み

問 墨古沢遺跡については、町民のみならず、多くの方々に歴史遺産として知っていただく必要があり、町の重要な観光資源である。当時の暮らしの体感を含めた歴史公園を目指すべきであり、隣接する酒々井パーキングエリア

と一体化した整備が必要と考えるが、計画の状況を伺う。

生涯学習課長 酒々井パーキングエリアのみならず周辺諸施設と連携を取り合って、史跡の活用を図ることは重要と考える。



酒々井PAに隣接する墨古沢遺跡 ※遺跡はイメージ

安全・安心なまちづくりの推進

問 先進市において、SNSなどを使い道路の損傷情報を住民が行政に通報できるシステムの運用が始まっている。投稿された写真などから行政側は損傷の状況や地点を瞬時に把握することができ、迅速に修繕対応することが可能になると伺うが、このようなシステムの当町での導入計画はないのか伺う。

まちづくり課長 道路の損傷だけでなく、不法投棄、落書きなどの情報も提供可能なシステム導入を検討したい。

問

県道の整備促進を強く要望する

答

県に要望しているが、地元からも要望を行っていただけると心強い



内海 和雄議員

問

コロナ禍による避難所運営の基本的な対策は

答

クラスター発生を防止するため万全を期すことが重要



佐藤 修二議員

問① 県道（富里酒々井線・成東酒々井線）整備について、15年間進展がない。町は県に依頼していると言いが、今までと違ったプロセスの仕方があるのではないか。

まちづくり課長 道路管理者である印旛土木事務所に対し、様々な機会を活用し、要望活動を行っている。議員からも地元要望を行っていただければ、さらに心強いものと考えている。

問② コミュニティプラザの改修計画が進まない。町独自で進めるべきと思うが町の考えを伺う。

経済環境課長 佐倉市、酒々井町清掃組合や佐倉市と改修内容や費用負担について協議を行っている。町としては、



昭和62年に建設された酒々井コミュニティプラザ

単なる施設改修だけでなく、来街者を呼び込み、収益性のある施設利用についても検討したい。

問③ 3月議会において、齊藤議員の一般質問で町長の資産関係の質問にはつきりした答弁がなかったが、何か問題があつて答弁されなかったのか。

町長 齊藤議員からの質問は、町の処理する一般事務の範囲を逸脱されているものと私は考えたので、お答えしなかった。

問④ 町民体育館、小学校プール、ちびっこ天国について、今後の活用計画を伺う。

生涯学習課長 町民体育館は関係各課職員による「町民体育館基本計画策定委員会」において、多目的な利用方法や今後の人口減少、維持管理等も含め、引き続き総合的に検討していく。

こども課長 酒々井小学校のプールは、水泳指導を民間に業務委託しており、現在は使用していない状況であり、今後もプールとしての活用計画はない。

経済環境課長 ちびっこ天国は、京成電鉄(株)と締結した「空き家等対策に関する協定」に基づき、既存施設の利活用の可能性について勉強会を行っている。

問① 今年も台風や豪雨の発生しやすい時期が近づくが、町は避難所運営マニュアルが完成していると聞く。コロナ禍により三密やソーシャルディスタンス等で人数や利用面積、避難会場の各専有面積等割りについて新たな課題も出てくると思われるが、コロナ禍における避難所運営に関する町の基本的な対策について見解を伺う。

総務課長 コロナ対策を講じた避難所での受け入れ人数は、これまでの3分の1程度になることから、自宅の安全確保ができる場合は在宅避難や車中避難など、多様な避難を呼びかけている。避難所では、クラスターの発生を防止するため、感染症対策に万全を期すことが重要である。

問② 3月議会の町長答弁の中で、災害発生時の避難所運営について、避難所運営マニュアルに基づき避難所開設訓練を職員に指示したとの答弁があつたが、実施状況、内容を伺う。

総務課長 これまで酒々井中学校等3ヶ所を実施し、職員のべ73人が参加した。また、自治会の役員等のべ27人に

も参加をいただき、パーティーションや簡易ベットの組み立て、避難をしてきからの流れの確認をしていただいた。



コロナ対策を考慮した避難所開設訓練（酒々井中学校）

問③ 町では高齢者の運転免許証返納者にタクシー利用助成券を交付しているが、免許証返納者の受付状況とタクシー利用助成券の詳細について伺う。

健康福祉課長 佐倉警察署管内で令和2年度中に免許証を自主返納された65歳以上の方は1,167人いた。町では、70歳から74歳までの方で免許証を返納した場合、1回1,000円を上限とする500円のチケットを40枚1回限り交付している。

問

町長の資産報告の内容を公開すべき

答

質問は事務の範囲を逸脱
報告書記載のとおりである



齊藤 博 議員

問 町長の「資産報告制度」は政治倫理の確立のため、国会議員の資産報告に倣って町の条例で定められた制度であり、「町長職にある人」としては「プライバシー」ではなく、町長の義務とされた制度である。報告、公開内容について根拠などを伺う。正確な説明をお願いする。「借入金金額」が、平成26年度分から増大しているが、その理由は何か。

町長 内海議員の質問にお答えしたとおり（P12上段参照）であるが、資産報告は政治倫理の確立のため行うものであり、議員個人、皆さんに関わる話でもある。議会としてもしっかりと倫理条例をつくってやられた方がいいと思う。

なお、この報告については、特段、私が首長になって何かをした訳でもなく、資産の内容をいちいち説明する必要はなく報告書記載のとおりである。「成田からの手紙」のようなものではない。

問 コロナ禍に係る交付金の継続を
コロナ禍の感染防止対策によって

「社会生活の規制」や「経済活動の制限」は継続され、通常の生活状態に復帰できるとは思えない。そんな中、昨年度は、全国的な対策が講じられ、成果があったと考える。しかし、令和3年度については予算措置のない補助制度などがある。特に中小企業等の事業者、子育て世帯への援助、福祉施設、医療機関等及びそれぞれの従事者へ助成等は継続すべきだと考える。国の交付金が確定していないが、独自でも早めに対処すべきと考える。

町長 町としては国の施策と歩調を合わせて実施していく形になる。

企画財政課長 コロナ禍による大きな影響を受けている事業者への支援策として、令和3年4月補正において、感染症対策優良飲食店助成金、公共交通事業者感染症予防対策補助金を予算計上した。引き続き、国や県からも事業者を支援するための様々な対策がとられている状況なので、それらの支援策や国からの追加交付金等の動向を注視し、各種事業者支援のため、交付金の有効活用が図られるよう努めていく。

有効活用が図られるよう努めていく。

問

酒々井町の介護保険料は近隣自治体と比較するとどうか

答

千葉県内で最も低額である



江澤 眞一 議員

問 令和2年度の介護保険認定状況について段階的に伺う。

健康福祉課長 令和3年2月末現在で、要支援1が110名、要支援2が118名、要介護1が212名、要介護2が120名、要介護3が101名、要介護4が108名、要介護5が65名の合計834名である。

問 酒々井町の介護保険料の県内や近隣自治体との比較はどうか。

健康福祉課長 令和3年度の県内自治体の基準平均は5,385円、近隣では成田市が4,800円、佐倉市が4,950円、八街市が5,270円、四街道市、印西市、富里市が4,700円、白井市が4,600円、栄町が4,340円で、酒々井町は3,900円となっており、県内で最も低額となっている。

介護施設の利用状況について次の点を伺う。

問① エコトピア酒々井の利用状況と待機者の人数。

健康福祉課長 令和3年3月末現在110名のうち6割が町民の方で、待機

者は43名である。

問② 介護老人保健施設の利用状況と利用料金。

健康福祉課長 当該施設は町内にはなく、近隣の16施設で令和3年3月末現在48名の方が利用している。町民税非課税世帯で、預貯金が一定以下の方へ所得に応じた自己負担の上限額を設けており、約4割の方が対象となっている。

問③ 町内デイサービス事業所数と利用状況。

健康福祉課長 町内には7箇所あり、161名の方が利用されている。

問④ 療養型医療施設はあるのか。あれば病院名を伺う。

健康福祉課長 町内、印旛圏域内に当該病院はないが、県内には8箇所ある。

問 障害者就労支援制度について、就労継続支援A型、就労継続支援B型の町内の事業所数と利用状況を伺う。

健康福祉課長 就労継続支援A型は町内にはないが、就労継続支援B型は5事業所あり、利用者は35名である。



※就労継続支援A型とは、障害のある方が一定の支援がある職場で雇用契約を結んだ上で働く福祉サービスです。就労継続支援B型とは、就職に不安や困難な場合に雇用契約を結ばないで就労訓練を行う福祉サービスです。

問

ICTの導入で、今後どのように授業を変えていきたいのか

答

対面授業とICTそれぞれの良さを活用していく



小早稲 美穂 議員

問 GIGAスクール構想による一人一台パソコン設置事業における現在の進捗状況を伺う。

学校教育課長 3月中に導入が完了し、既に使用を開始している。今後は、各家庭で使用の際の留意点や紛失等の対応方法等についてお知らせしていく。



一人に一台パソコンが貸与され、授業等で活用していきます

問 パソコンの連続使用による視力低下等のデメリット対策を伺う。

学校教育課長 目と端末までの距離や連続使用時間等について、適切に指導するよう各学校に依頼した。

問 学校の臨時休業等、非常時のリモート学習は可能か伺う。

学校教育課長 これまでの分散登校等に加え、配布したパソコンを持ち帰り、

教科書の内容にそった家庭学習を進める予定である。

問 Wi-Fi環境が整っていない家庭への経済的・技術的支援を伺う。

学校教育課長 要保護・準要保護家庭にはWi-Fi機材及びその他の使用料の予算措置をしている。また、文書にて保護者宛に環境整備に関する技術的な情報を案内することで、各家庭での整備をお願いしたいと考えている。

問 不登校対応として、一人一台パソコンの活用により授業代用とすることは可能か。また、成績評価は可能か。

学校教育課長 国では、一定要件を満たせば、自宅で学校等が提供するICT等を活用した学習活動を行った場合、校長は出席扱い及びその成績を評価に反映することができるとしている。

問 ICTの活用が進んで行き、学校教育がどのように変わっていくと思われるか、教育長に伺う。

教育長 学校教育の目的は人格の完成である。今後は対面授業とICTのそれぞれの良さを適切に判断して良い所同士を活用していく事になる。

問

消防団員の人手不足解消のため報酬額を引き上げるべき

答

近隣自治体との均衡を図るため、平成27年度に報酬額を引き上げた



御園生 浩士 議員

問 消防庁は、災害時に出勤する消防団員の一日あたりの報酬額を8,000円と通知したが当町の報酬額を伺う。

人手不足が深刻な消防団員の確保に向け、消防庁は災害時に出勤する団員への報酬を一日あたり8,000円とし、自治体が団員に直接支払うことなどを盛り込んだ待遇改善策を自治体に通知した。国は今年度中に条例を改正し、来年度からの施行を求めているが、町の考えを伺う。

総務課長 1日単位ではなく、1回の出勤につき1,500円を支給している。印旛郡内の市町と均衡を図るため、平成27年度に1,000円から1,500円に改正を行ったところである。



地域防災の要となる消防団

問 GIGAスクール構想についてパソコン等の学習用端末の配置とWi-Fi等の無線環境整備の進捗状況を伺う。

こども課長 パソコン整備は3月に完了している。無線環境整備は、各教室や体育館等をWi-Fi環境にするための整備も3月に完了している。



小中学生に一台ずつ貸与されたクロームブック

問 学習用端末（パソコンなど）の児童・生徒、教師間の習熟度に差が生じるが、レベルの高い人の習熟度にどの様に合わせるのか。

学校教育課長 教育委員会と学校で協議し、学年別に最低限クリアしないといけない事を明確化したので、最低限のベースよりアップするような形で指導を進めていく。さらに伸びる子にはそれ相応の指導をしていきたい。

問 下宿ベースのスロープの傾斜を緩やかに

答 介助者が必要なことを説明している

問 下宿ベースのスロープの傾斜は非常に急であるが、緩やかな角度にできなかった理由は。

住民協働課長 あらかじめ特定された方の利用となるので、利用申請時には車椅子利用者の有無を確認し、必ず介助者が必要であることなどを説明している。また、スロープを緩やかにすると駐車台数に影響が出てくる。



地域活動拠点施設
下宿ベース

問 J A跡地の建物の耐震診断は終わったのか。また、今後の利用計画はどうなっているのか。

副町長 耐震診断の発注に向けて事前調査を行っている。診断結果により使用できる場合は、中心市街地内の地域振興施設としての利用方法を検討していく。



白井 則邦議員

中小企業へ迅速な給付金の支給を

問 酒々井町中小企業等緊急支援給付金は、第一段を申請した方は、第二段の要件も満たしているが、辞退がなければ支給するという制度にできなかったのか。

経済環境課長 第一段を申請した方が事業を継続していることを確認する必要があるため、再度申請をいただく制度とした。

マタニティステッカーを配布しては

問 妊産婦の支援として、車貼付用マタニティステッカーを配布できないか。
健康福祉課長 NPO法人が作成したステッカーを保健センターで母子健康手帳の交付の際に妊婦の方に配布している。



マタニティマークは妊産婦の健康を守るための大切なマークです

問 生理用品を小中学校や公共施設のトイレに設置し無償配布を

答 管理衛生上、トイレへの設置は難しい

問 国内外で生理の貧困が議論されている。今後の対応を伺う。

学校教育課長 教員の目が届かない場所への配置は、管理上、衛生上問題があり、保健室での貸出しが望ましいと学校から回答を得ている。

健康福祉課長 衛生管理等で問題があるので、公共施設のトイレへの設置は難しい。なお、生理用品は生活必需品なので、経済的な理由から入手困難な方には、6月1日から無料配布を健康福祉課、保健センター、中央公民館等で配布している。

就学援助の充実について

問 準要保護世帯の援助基準が他自治体よりも低い。基準の引き上げ及び新入学準備金の増額を。

学校教育課長 今後の申請状況及び近隣市町の動向を確認しつつ、見直しを検討していく。

問 児童生徒のいる世帯だけではなく、ホームページに載せる、パンフの作成など、広く町民にわかりやすく知らせる工夫をすべき。

学校教育課長 各学校の「学校だより」により年2回周知しており、入学説明会等でも説明をしている。また、学校集金に遅れがある家庭にはよくお話を聞きするとともに、就学援助の制度

問 農協跡地の活用



地福 美枝子議員

があることをお伝えするなど、きめ細やかな対応をしている。

木造住宅耐震改修補助金制度について
問 対象建築年度を昭和56年度までから、平成12年までに変更を。また補助額の増額を。

まちづくり課長 補助要件の拡大については、周辺地域の状況を注視しながら検討していく。

「コロナワクチン接種について」
問 体制は十分か。終了の目処はいつか。

健康福祉課長 医療、会場スタッフなどの確保について、個別接種は問題ないと考えている。集団接種は医師や看護師、事務員など20人程度を予定している。また、65歳以上の接種を希望する方は7月中旬に終了することを目標としている。16歳から64歳までの希望する方は、11月中旬の終了を目標としている。

農協跡地の活用の進捗状況は
問 町民が交流できる多目的な施設を要望するかどうか。

経済環境課長 農協跡地は産業振興策として駐車場、建物については改修に係る費用対効果等を検討のうえ、地域振興施設として活用を考えたい。

問 「道路幅11・5m」「延長25m」の道路改良工事費と財源は

答 全体事業費は約3千4百万円、
全額一般財源である



竹尾 忠雄議員

問 上岩橋トケ崎地域の小坂建設工業

からバーミヤン前の国道51号へ出る町道の現況は道路幅3・6m、歩道(片側)1・5mの一方通行である。3月議会では道路幅を11・5mに拡幅するための用地購入費が予算化された。国道まで道路延長は僅か約25メートルであるが、全体の事業費と財源を伺う。

まちづくり課長 全体事業費約3千4百万円で、財源は全額一般財源となる。

中小企業、個人事業主へ町独自の支援

問 コロナ禍による売り上げ減少で苦しむ中小企業、個人事業主への支援が必要である。十分な補償は経済対策、生活防衛策であるとともに、感染拡大を防止する上でも必要不可欠である。町内の中小企業や個人事業主へ更なる給付金等の支給を求めるが町の考えを伺う。

経済環境課長 町独自に中小企業等緊急支援給付金等を実施したが、限りある財源の中で単に給付金を支給する事業の継続は極めて困難であり、効果的な支援が必要である。国の交付金の配分状況により、効果的な支援事業を検

討していきたい。

生産者米価の暴落が予想される

問 コロナ禍等により過剰在庫が積み上がり、米価が下落し、農家は今年の新米価格60kg(1俵)1万円を割ると言われている。生産者が安心して米作りを続けられるよう町長は政府に要請すべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長 憂慮される問題なので、千葉県町村会を通じて要請していきたい。また、町議会からも国へ意見書を出された方が良いと思う。

旧酒々井機場(国管理)について

問 町は築50年以上経過した酒々井機場(土地改良施設)を国から払い下げを受け、「農業遺産」として後世に残したいとのことだが、台風で屋根が飛んでしまった。町が修理するのか。また、水路は駐車場として活用すると聞

くが、沼地で地盤改良等を行うのか。

町長 建物は国に撤去を依頼している。水路に土を載せて駐車場とする。軟弱地盤なので、何年かすれば下がってくるが、その時はまた土を載せる。印旛沼の堤防もそのようになっていく。

受賞おめでとうございませう

自治功労者特別表彰



越川 廣司議員 江澤 眞一議員

町議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、越川廣司議員、江澤眞一議員が、5月26日に千葉県町村議会会長から自治功労者特別表彰を受けられました。

6月定例会の最終日、開会前に議場において伝達式が行われ、川島議長より表彰状が手渡されました。

完成

酒々井中テニスコート

照明
完備

スポーツ団体も利用

町議会では、酒々井中学校グラウンド整備の一環として進められていたテニスコートの工事終了に伴い、5月26日に現地視察を行いました。

新たに、砂入り人工芝のコートが5面、照明設備、駐車場などが整備されました。

地域スポーツ活性化のため、8月1日より、中学校が使用しない時間(19時〜21時30分)にスポーツ団体に貸し出されています。※利用を希望する団体は、生涯学習課への事前登録が必要です。



公立中学校では珍しい砂入り人工芝のコート



町執行部の説明を聞きながら設備を確認

特定事業所への応援予算を可決

65歳以上の高齢者等へのPCR検査を無料へ

令和3年4月臨時会で上程された議案は次のとおりです。

議案

■議案第1号・第2号■

税条例を専決処分により改正

納税者に不利益が生じないように、町税賦課徴収条例等の一部及び町都市計画税条例の一部を専決処分により改正したことから、議会に承認を求めめるもの。
※それぞれ全員賛成で承認

一般会計を増額補正

■議案第3号■

今回の補正は、福祉施設・学校などの従事者へのPCR検査費用等をはじめ、感染症対策優良飲食店助成事業や公共交通事業者感染症予防対策補助事業、医療従事者慰労金支給事業の

他、65歳以上の高齢者等へのPCR検査助成事業、さらには在宅療養者及び施設療養者ワクチン接種確保事業など、緊急を要する経費等を計上するもの。
※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	65億148万6千円
補正額	9,653万6千円
合計	65億9,802万2千円

討論

PCR検査無料などコロナ対策のための補正予算に賛成

地福 美枝子 議員

PCR検査についてはぜひ、町での対策をもう少し広めてい

感染症対策優良飲食店助成事業に賛成
小早稲 美穂 議員
感染症対策優良飲食店助成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲



ただきたい。検査が無料であることは大歓迎するが、昨年度自己負担で検査を受けた方に対して何らかの対応をすべきである。また、多くの町民が一度だけの検査では意味がないと思っっている。いつでも誰でも検査ができる大規模な体制でなければ新型コロナウイルス感染症の防止にはいたらないのではないかと。ぜひ町でも大規模な検査体制を整えていただきたい。
意見を申し上げたが、議案第3号に賛成する。

食業の事業継続のため、町が推奨する感染症防止対策を遵守する飲食事業者に、感染症防止のための消耗品や備品などの購入経費に対し、15万円を上限に助成するものである。町としても安全を確認し、町民が安心して飲食のできる場をわかりやすく明示することは、町の活性化にもつながる。これまでも「町新型コロナウイルス感染症対策取組宣言の店」に登録されている17店舗は、町からステッカーが提供され町ホームページで店舗名が公表されている。
町内飲食店の方々にも引き続き感染症対策にご協力いただきたい。

■議案第4号■追加議案

江澤議員が新たな監査委員に

議会選出の佐藤修二監査委員が辞職されたため、後任の監査委員として江澤眞一議員を選任するため、議会の同意を求めめるもの。
※全員賛成で同意

9月定例会のお知らせ

次の定例会は、9月2日に開会する予定です。

なお、感染症予防対策として、本会議場内で傍聴できる人数を7人に制限しています。傍聴を希望される方は感染症予防対策へのご協力をお願いいたします。

また、役場中央庁舎耐震補強等改修工事の実施に伴い議場は分庁舎2階第2多目的室に移転しています。

詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎(496) 1171
(内線271、272)

編集にあたって

今回より新たなメンバーでの紙面づくりとなりました。今後も町民の皆さんに親しまれる議会報づくりに努めます。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 酒瀬川 芳子 |
| 副委員長 | 白井 則邦 |
| 委員 | 江澤 眞一 |
| 委員 | 御園生 浩士 |
| 委員 | 大石 法子 |
| 委員 | 小早稲 美穂 |

議会だよりしすい 創刊200号記念

記念すべき第1号は
B5版全4ページ



議会だよりしすいは、議会の活動を町民の皆様幅広く知ってもらいたいとの思いで、昭和46年7月1日に第1号が創刊され、今回、令和3年8月1日の発行で記念すべき200号を迎えました。50年を迎える議会だよりの歴史と町の歩みを振り返ります。

昭和59年
保健センター完成



- 昭和47年 現役場庁舎完成
- 昭和49年 東酒々井団地入居開始
- 昭和53年 中央台団地入居開始
- 昭和54年 酒々井中学校新築移転
- 昭和55年 中央公民館完成
- 昭和57年 大室台小学校開校

創刊号 昭和46年7月1日発行

第50号 昭和59年3月1日発行

- 昭和62年 酒々井コミュニティプラザ完成
- 昭和63年 総合公園完成
- 平成元年 JR酒々井駅橋上駅舎完成
- 平成5年 尾上浄水場完成
- 平成5年 町防行政無線稼働開始
- 平成6年 京成酒々井駅橋上駅舎完成



第100号 平成8年8月4日発行

- 平成10年 本佐倉城跡国指定史跡
- 平成15年 プリミエール酒々井完成
- 平成17年 住民投票実施(自立の道を選択) 佐倉市との合併の是非を問う
- 平成18年 中学生模擬議会開始
- 平成20年 酒々井小学校創立100周年



第150号 平成21年2月17日発行

- 平成25年 酒々井インターチェンジ開通
- 平成25年 酒々井プレミアム・アウトレット開業
- 平成28年 こども模擬議会開始
- 令和元年 墨古沢遺跡国指定史跡
- 令和元年 議会中継開始
- 令和2年 町制施行130周年
- 令和3年 「議会だよりしすい」第200号発行に際して

「議会だよりしすい」第200号発行に際して
昭和46年の創刊号から50年、200号という記念すべき議会だよりの編集に携われる事は喜びでもあり、責任も感じます。これからも「わかりやすい議会の情報発信」を目指します。
議会だより編集特別委員会 委員長 瀬瀬川 芳子

令和3年8月1日発行

● 議会だよりしすい ●
● バックナンバー ●

★ 第1号～第123号
町立図書館 (DVDに保存)

★ 第124号～第177号

★ 第178号～最新号